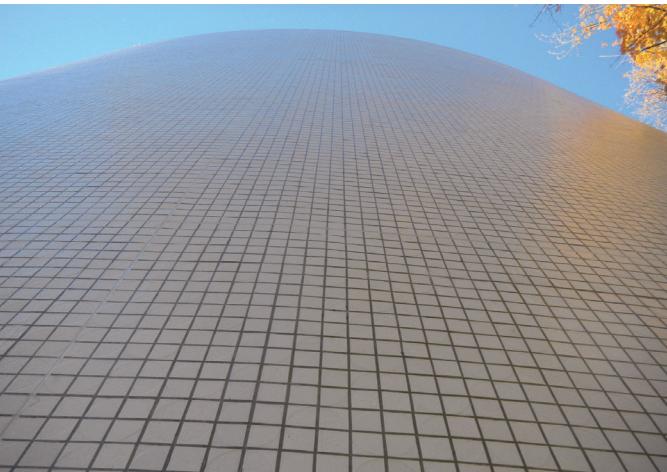




信頼と実績の外壁タイル剥落防止工法

EVERGUARD SG - KGK15工法

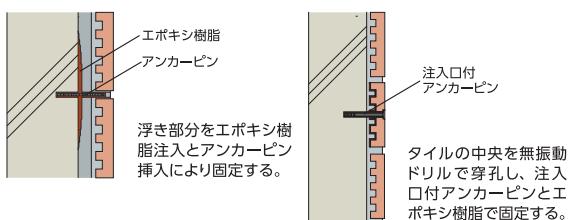
過去の実績をもとに剥落防止15年保証を実現



タイル張り外壁の剥落防止改修における2つの考え方

部分改修

メリットは低コストで改修できること。しかし“補修時のタイル張り外壁の劣化部のみを補修する”ため、今後新たに発生する“浮き”への対処にはならない。

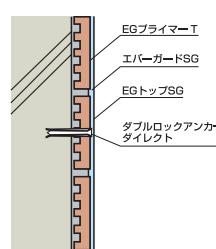


一般的な補修方法で、タイルの“浮き”が発生している部位に対し、アンカーピンとエポキシ樹脂を用いてタイルや張り付けモルタル、または躯体(くたい)コンクリートを再度接着させる。

全面改修 (EVERGUARD SG)

予防保全

劣化部のみの改修工事では実現できなかった潜在的な“浮き”に対処する考え方で、タイル張り外壁面全体で剥落事故を防止する。



「EVERGUARD SG工法」は、ステンレス製の「専用アンカーピン」と、透明で優れた塗膜強度を持つ「特殊1成分形ウレタン樹脂」を組み合わせ、既設タイル壁の風合いを極力損ねることなく、タイル張り外壁全面を覆す。

EVERGUARD SG工法抜群の塗膜性能と耐久性

UR都市機構の外壁複合補修工法の要求性能試験にすべて合格

項目	判定基準	EVERGUARD SG
コンクリート躯体に対するアンカーピンの引抜き試験	1,470N 以上	3,171N
複合補修層に対するアンカーピンの引抜き試験	1,470N 以上	3,701N
複合補修層の接着強度試験	0.7N/mm	4.8N/mm
複合補修層の補強効果確認面外曲げ) 試験	曲げ強度が490Nもしくは変位が30mmで破断しないこと	変位30mm以上
温冷繰り返しに対する耐久性試験	0.5N/mm	1.4N/mm



一般社団法人
機能性外壁改修工業会

振動実験(剥落防止効果の検証)

■ 試験体 コンクリート架台 1200×1200mm(厚さ150mm)

- ①下地モルタル層あり: 厚さ30mmのモルタル板をはめ込み、その上からタイルを張り付け
- ※モルタル板とコンクリート架台は接着していないため、これにより“モルタル層の浮き”とほぼ同様の状態となります。
- ②直張りタイル: コンクリート架台の外周部分を除いて絶縁シートをあらかじめ張り、その上からタイルを張り付け
- ※絶縁シートにより、張り付けモルタル部の“浮き”とほぼ同様の状態となります。

これらの架台にそれぞれ「未施工」と「EVERGUARD SG工法を施工した」2種類、計4台の試験体を用意

■ 試験方法 試験体に対して、東日本大震災相当の負荷を掛けて状況を観察



EVERGUARD SG
未施工



EVERGUARD SG
施工

振動実験を行った結果、面でタイルの剥落を防止することで、大規模地震への備えに対応する安心の外壁を実現しました。

ファサード試験(燃焼広がりの検証)

■ 試験体 異なる仕様の外壁(H:2,730×W:1,214)を3体用意(試験体A～C)。また、外壁にはH:606×W:606の開口を設けた。

■ 試験方法 ガスバーナーによる炎で10分間燃焼を続け、炎停止後5分間静置、その後水洗いし外観目視及び打診棒による打検を行った。

試験体

試験体記号	試験体仕様	剥落防止工法の有無	仕様名
A	モルタル下地	有	SG-1
B	コンクリート直張	有	SG-3
C	コンクリート直張	無	—



試験結果

試験体記号	A	B	C
延焼状況			

試験体A～Cの表面に、延焼は見られなかった。また、EVERGUARD SG工法の浮き面積は、燃焼面積とほぼ一致した。

高層マンションにおける火災事故の報道により、有機材料を用いた外壁塗材の燃焼性に多くの関心が集まっています。この試験の結果、EVERGUARD SGを施工した試験体とタイルを露出させた試験体とで、ほぼ燃焼の広がりに違いは無いことが確認されました。

仕様

工程	使用材料	使用量 (/ m ²)
1	穿孔	-
2	ダブルロックアンカーダイレクト	4 本
3	EGプライマーT	0.12 kg
4	エバーガードSG	0.25 kg
5	エバーガードSG	0.25 kg
6	エバーガードSG	0.25 kg
7	エバーガードSG	0.25 kg
8	EGトップSG	0.1 kg
9	EGトップSG	0.1 kg

15年保証は、機能性外壁改修工業会が提供する独自の保証です。

会員名



一般社団法人
機能性外壁改修工業会